

保護者の皆様

全国学力調査・都学力調査・体力調査 結果のお知らせ

練馬区立石神井西小学校
校長 山口 義一

今年度の文部科学省全国学力・学習状況調査（6年生 4月18日実施）、東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査（5年生 7月6日実施）、文部科学省全国体力・運動能力、運動習慣調査（全学年 6月中実施）の調査結果をお知らせします。調査結果を基に、各学年および教科担当の教員で授業改善のためのプランを作成し実施していきます。以下は、授業改善推進プラン作成の基になった調査の結果（概略）と課題、改善策です。

【5年生】東京都学力調査の結果

教科	A 教科の内容		B 読み解く力に関する内容	
	平均正答率(%)		平均正答率(%)	
	本校	東京都	本校	東京都
国語	○72.2	67.5	▲64.1	71.7
社会	○77.7	76.1	○66.5	61.9
算数	○66.9	63.7	○49.5	47.9
理科	○69.8	69.4	○82.3	78.9

【記号について】

- ◎＝かなり満足できる段階（東京都平均正答率 +5ポイント以上）
- ＝概ね満足できる段階（東京都平均正答率 ±0～+5ポイント未満）
- △＝努力を要する段階（東京都平均正答率 -5～±0ポイント未満）
- ▲＝かなり努力を要する段階（東京都平均正答率 -5ポイント未満）

【5年生】

《A：教科の内容》

国語、社会、算数、理科の各教科で身に付けた知識や技能、思考力や判断力等の定着状況について、総合的には各教科とも都の平均を上回りました。観点別に見た場合、国語の「読む」と理科の「知識・理解」で、都の平均を若干下回っています。

正答率が下回った国語の「読む」では、叙述をもとにして場面の様子や登場人物の気持ちを読み取る問題でした。場面の様子や登場人物の気持ちを、複数の叙述を関連させて考えるような指導を充実させていきます。

理科の「知識・理解」については、児童が自ら目的・問題意識をもって意図的に自然の事物・現象に働きかける活動を通して、実感を伴って理解させる指導の充実を図っていきます。

《B：読み解く力に関する内容》

都では、「読み解く力」を「文章や図表等から必要な情報を正確に取り出し、比較・関連付けて読み取り、理由を知識・解釈推論して解決する力」としています。

国語で都の平均を7.6ポイント下回っていますが、他の教科は上回っています。目的や意図をもって複数の資料を読み、内容を関連付けながら筆者の思いを理解・解釈した上で、自分の目的に合うようにまとめ直す力を身に付けさせていきます。

【6年生】全国学力調査の結果

教科	平均正答率(%)		
	本校	東京都	全国
国語A(知識)	◎80	76	74.8
国語B(活用)	◎66	60	57.5
算数A(知識)	○82	81	78.6
算数B(活用)	○50	49	45.9

【記号について】

◎=かなり満足できる段階	(全国平均正答率 +5ポイント以上)
○=概ね満足できる段階	(全国平均正答率 ±0~+5ポイント未満)
△=努力を要する段階	(全国平均正答率 -5~±0ポイント未満)
▲=かなり努力を要する段階	(全国平均正答率 -5ポイント未満)

【6年生】

《国語A：主として知識》

「話す・聞く能力」「読む能力」「知識・理解・技能」の3つの観点において全国・都の平均を上回りましたが、「書く能力」は2.6ポイント下回りました。手紙の後付けを正しく書くことへの理解が不十分だったので、再度指導し定着させます。

《国語B：主として活用》

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」の4観点すべてにおいて、全国と都の平均を5ポイント以上上回りました。

《算数A：主として知識》

「知識・理解」においては、全国と都の平均を5ポイント以上上回りました。「技能」については全国の平均は上回りましたが、都の平均は1.5ポイント下回りました。二次元表の活用の技能を定着させるとともに、統計的な問題解決の素地を育てていきます。

《算数B：主として活用》

「知識・理解」においては、全国と都の平均を上回りました。「数学的な考え方」については全国の平均は上回りましたが、都の平均は若干下回りました。問題から式を立てたり、きまりを見つけて説明したりすることより、自分で図を描いて問題解決に役立ったり、与えられた図を利用したりする力が弱いので、そこを高められるように指導していきます。

平成 29 年度 新体力テストの結果について

今年度実施しました新体力テストの結果を全国・東京都と比較しながらお知らせいたします。実施した種目は、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」です。この結果を参考にし、普段の生活や運動週間の見直しに役立ててほしいと思います。

学年	実施結果
1年	男子の各種目の合計点は全国平均とほぼ等しく、東京都平均を上回っています。測定種目の中では、「20mシャトルラン」が低い傾向にあります。 女子の各種目の合計点は、全国・東京都平均より低くなっています。測定種目の中では、とくに「反復横跳び」が低い傾向にあります。
2年	男女共に各種目の合計得点が、全国・東京都平均を下回っています。測定種目の中では、男女共に、「20mシャトルラン」の平均がとくに低い傾向にあります。
3年	男女共に各種目の合計得点は、全国・東京都平均を下回っています。測定種目の中では、男女共に、「20mシャトルラン」の平均がとくに低い傾向にあります。
4年	男女共に各種目の合計得点は、全国・東京都平均を下回っています。測定結果の中では、男女共に「上体起こし」「反復横跳び」がとくに低い傾向にあります。
5年	男女共に各種目の合計得点は、全国・東京都平均を下回っています。 男子は、「長座体前屈」「反復横跳び」「ソフトボール投げ」がとくに低い傾向にあります。 女子は、「反復横跳び」「20mシャトルラン」「長座体前屈」「立ち幅跳び」がとくに低い傾向にあります。
6年	男女共に各種目の合計得点は、全国・東京都平均を下回っています。 男子は、「長座体前屈」がとくに低い傾向にあります。 女子は、「20mシャトルラン」がとくに低い傾向にあります。
全体	全体的に全国平均・東京都平均よりも低い傾向にあります。 男子は、「長座体前屈」「ソフトボール投げ」の記録が低い傾向にあります。 女子は、「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」の記録がとくに低い傾向にあります。

来年度に向けて

【長座体前屈】

体の柔軟性を計測する種目です。学校では、体育の準備運動にストレッチを多く取り入れていきます。ご家庭でも、お風呂上がりなどに取り組みせてみて下さい。

【20mシャトルラン】

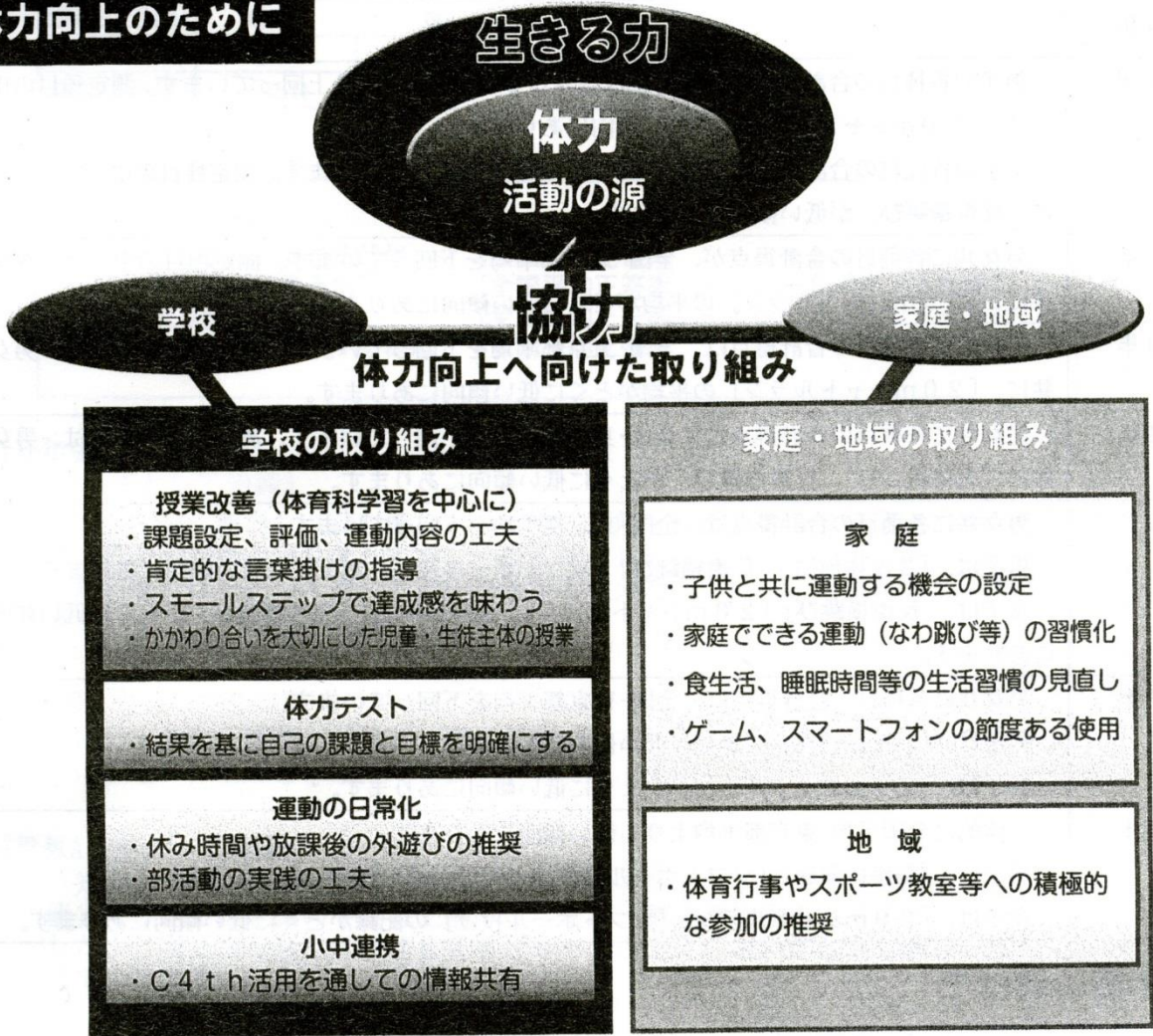
持久力を計測する種目です。学校では、体育の授業の中で3～5分の持久走を取り入れていきます。持久力は走ることで得られますので、ご家庭でも取り組んでみて下さい。

【ソフトボール投げ】

投力を計測する種目です。体全体を使う動作であり、ボールを投げる運動を多く取り入れることで向上します。学校では、体育の授業の中で投力を伸ばす運動に取り組みます。ご家庭でも、キャッチボールなどに取り組んでみて下さい。

(資料)

体力向上のために



(平成27年度練馬区体力向上検討委員会報告リーフレットより)